

## いなむら市長の「い~なこの街尼崎」12月

テーマ：市長公約の進捗状況

早いもので、もう年の瀬が迫ってきました。日に日に寒くなってきましたが皆さんお元気でお過ごしでしょうか。さて、早いといえば、私が市長に就任させていただいてから丸3年が過ぎ、4年の任期も残すところ後1年となりました。

今回は、「市長公約の進捗状況」と題しまして、私が市長に就任してからの3年間を振り返るとともに、就任時に掲げた公約の進捗状況についてお話していきたいと思います。

さて、私は平成22年12月12日が就任日だったんですけれども、振り返ってみますと、1年目は何をするにも初めてのことばかり、まずはしっかりと説明を聞く、いわゆるレクチャーを受けるわけなんですが、年末年始は地域の行事なども多いんですよ。いろんな会合でもう本当に緊張しながらご挨拶、そして行事に出席する合間に、本当にいろんな種類のレクチャーを受けて、そうこうしているうちにすぐに連日、予算編成のための査定が入ってきてと、本当に最初の数ヶ月はもう毎日無我夢中でした。

娘もまだ保育所にいましたので、娘を送ってから朝出勤して、もう夜家に帰ったら、(つまり)バタンキューという感じでした。とにかく分からないことはいろんな人に聞くというスタイルでやっていたんですけれども、市役所の仕事というところこそ多岐にわたりますので、質問攻めにあっていた職員は、大変だったと思います。

また、就任後の3月に東日本大震災が発生しました。最初は手探りで支援活動でしたが、宮城県の気仙沼市をカウンターパートと定め、顔の見える関係、息の長い支援をしていこうと決めました。また、地盤の低い私たちのまち尼崎市の防災対策についても、その重要性を再認識することとなりました。

2年目は、1年目に比べて段々と全体を見渡せるようになったかなと思います。選挙の公約にも掲げていました政策室を設置をしまして、また、環境省から政策担当の理事をお迎えしまして、精力的に取り組を進めてきました。

また、大幅な組織再編も行って、環境と産業の両立を目指すための経済環境局や、公共施設をはじめとする本市の資産の活用や税収の確保など、本市の財産を最大化するための資産統括局、市民の皆様からも大変強い要望をいただいていたまちのイメージ向上などを進めるシティプロモーション推進部などを新設しました。

3年目には、今後10年間を見据えたまちづくりの基本計画、ひと咲き・まち咲き・あまがさきをキャッチフレーズとする「尼崎市総合計画」と、新しい行財政改革計画「未来へつなぐプロジェクト」が、いよいよ動きだしました。都市の魅力増進や、現役世代の定住・転入の促進、都市の体質転換などを目指して、取り組みを始めています。

例えば、高等学校の通学区域の再編、まあ入試制度の変更に伴う進路対策や、小中学校の児童生徒を対象に基本的な知識や技能の習得と活用する力の育成を目指した学力向上クリエイティブ事業の拡充などのほか、ひたたく撲滅宣言とキャンペーンの強化、さらには市の全事業を対象に企業やNPO等から委託・民営化の提案を募る「提案型事業委託制度」の導入、社会課題をビジネスの手法で解決する取り組

みとして「ソーシャルビジネス」の振興策の検討なども行ってきました。

中でも、この1年間で特に印象に残っているのは、やはり、今年の3月に国から「環境モデル都市」に選定された事です。

かつて、高度成長期の日本経済を支える阪神工業地帯の中核として発展してきた尼崎市が経験してきた環境問題を、産業界・市民・行政が一体となって乗り越えてきた歴史、そういった歴史に加えて、環境と産業の共生による地域経済の活性化を目指そうと取り組んでいる「尼崎版グリーンニューディール」など、経済成長とCO2削減の両立を目指すそんな産業都市の実現に向けた提案が評価をされたと思っています。

もちろん、「環境モデル都市」に選定されたことはゴールではなくて、むしろスタート、今後の取り組みが重要だと思っています。

現在モデル都市の実現に向けた具体的なアクションプラン、計画を策定していますので、環境モデル都市の名のとおり、他都市のモデルになるような環境配慮型のまちづくりや経済政策を目指して取り組みを進めていきたいと考えています。

もう1つ印象に残っているのが、「シティプロモーション推進部」で取り組みを進めている現在の尼崎が持つ魅力の創造と発信です。

今年の2月に策定した「尼崎版シティプロモーション推進指針」これは名づけて「あまらぶ大作戦」って言うんですけども、この指針に基づいて「尼崎観光交流ガイド あまらぶ」ですとかPR映像である「あまらぶウェルカムムービー」などを活用しながら、戦略的・効果的にまちの魅力を発信したいと頑張っています。

先月には、全国で初めてのシティプロモーションサミットというのを尼崎市で開催をしました。北は札幌から南は鹿児島まで、全国各地の多くの自治体職員の方々に参加いただくなど、尼崎を訪れる方の増加に繋がっています。

もちろん尼崎を訪れた方々に尼崎の魅力をPRするだけでなく、全国各地の事例報告会や首長会議などを通じて、私も多くの刺激を受けました。

今後も更なるまちの魅力の増進や情報発信を行って、過去のマイナスイメージを払拭するとともに、現在の尼崎市の持つ魅力をもっともっと広めていきたいと思っています。そしてもっとたくさんの人達に「あまらぶ」になってもらって、皆が愛着や誇りを感じるそんな街にしていきたいと思っています。

就任から3年が経ちまして、未着手となっていた市長公約の項目はもう無くなったんですけども、まだまだ途上の取り組みがあります。

就任3年を経て、39項目のうち35項目については、「達成している」または「進捗している」と自己評価をさせていただいたんですけども、皆さんにも色々ご意見を頂戴できればなと思っています。

この評価につきましては、毎年就任した12月に行っておりまして、評価結果については市のホームページでも公表をしております。是非、ご覧いただきまして、率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。

今回は、「市長公約の進捗状況」と題しまして、市長に就任してからの3年間を振り返り、就任時に掲

げた公約の進捗状況についてお話をさせていただきましたが、一步一步、前進できているかなと感じる一方で、公約を作った時には認識できていなかった課題や、新たに発生している課題も数多くあります。市長公約の進捗と市民の皆さまからのまちづくり全体に対する評価は、また別かなというふうにも思っております。

進捗度合いの低い公約の実現はもちろん、新たな課題にもしっかりと対応して、任期の残り1年、精一杯頑張っていく所存です。

尼崎市の財政は、今なお厳しい状況が続いています。社会情勢の変化も激しいなか、今後とも、さまざまな課題や困難に直面することがあると思いますが、目的地を見失うことなく、取り組みを進めていきたいと思っています。引き続きのご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、皆さん。よいお年をお迎えください。